

回復期リハビリテーション病棟での取り組み

ADLの向上が目標です。(ADLとは、日常生活活動動作の略語です)

1

離床活動

個別訓練以外にも、趣味活動やレクリエーション、体操などの集団訓練を行い、起きて生活する習慣をつけていただきます。起きて生活する習慣をつけることで、家に帰ってもベッドから離れて生活することができます。

2

運動

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が個別訓練を行います。365日体制で、毎日途切れることなくリハビリテーションを行います。一人ひとりの患者様の状況を病棟スタッフと共有し、「できるADL」ではなく、「しているADL」にアプローチしていきます。

3

社会交流

院内での患者様同士や家族様同士の交流を図り、退院後に続く仲間作りを支援していきます。